

平成23年3月9日

会議録 審査内容

◇会議録

- 1 日 時 平成23年3月9日
開会 午後2時58分 閉会 午後3時15分
- 2 場 所 役場5階会議室
- 3 出席委員 6名
委員長 堀川貴庸
副委員長 谷口和弥
委員 野原恵子 前川敏春 大野和政 千葉幹雄
- 4 傍聴者 中橋友子 増田武夫 前川雅志 勝毎 平田記者 道新 鈴木記者
- 5 事務局 局長 米川伸宜 課長 仲上雄治 係長 金田恭之
- 6 審査事件 別紙
- 7 審査結果 別紙

委員長 堀川貴庸

◇審査内容

(14:58 開会)

- 委員長(堀川貴庸) ただ今より民生常任委員会を開会いたします。

過日の2日に予定されていましたが、大変失礼をいたしました。お詫びいたします。それでは、1番目の付託されました陳情第15号、子どもの医療費助成の拡大を求める陳情を、議題にさせていただきます。このことにつきましては、ただ今、局長のほうからこれまでの経過も含めて整理報告させていただきます。事務局長。

- 事務局長(米川伸宜) これまでの経過について簡単にご報告、ご説明いたします。

11月30日開催されました第4回定例会において、陳情第15号が民生常任委員会に付託されております。本会議終了後、第1回の会議を開きまして、管内市町村の状況と直近の資料について、担当課に求めた上で、次回2回目を12月14日火曜日10時から開催することを決定いたしました。

第2回目でございます。担当課より提出された資料を基に、各委員が意見を述べられました。

さらに審査をすることが必要であるとしまして、継続審査することとした上で、担当課から実績等に基づいた資料の提出と説明を求めることとしました。第3回目でございます。2月4日、10時から開催しております。先進市町村の実績に基づいて算出されました、幕別町の扶助費の推計値について、担当課より説明を受けまして質疑を行っております。その後、会派に持ち帰りさらに検討することといたしました。本日が第4回目となります。以上です。

- 委員長(堀川貴庸) ただ今のご報告のとおりですね、これまでの委員会では本陳情に対しまして、委員の皆さんからご意見等をいただいております。また、それぞれ担当部局から出された資料等に基づいて議論もいただいているのかな、と思っております。それを踏まえまして、会派にそれぞれ持ち帰っていただきまして、議論をいただいているところであると思います。相応の議論を重ねてきたのかなと思ひまして、それぞれの会派、委員の方で結論を出されたのかな、と思っております。その前提に立ちまして、改めましてご意見等いただけましたらと思ひますが、委員の皆さんからご意見等いただけるでしょうか。前川委員。

- 委員(前川敏春) 今の乳幼児医療費の助成の関係なんですが、今、局長からあらかた経過については説明いただいたんですが、実は私たち民生常任委員会といたしましても、昨年4月でしたか、条例改正案が出ました。その後、ずっと常任委員会でも色んな調査研究をしてきた、そういう経過だと思います。当初、大変、大きな予算が示されたわけでありまして。それに対して、今の町の財政状況を考えながら色々検討させていただいたんですが、ただ最終的に、先般出された総予算では3,600万円位で予算を組める、という見積もりを出させていただきました。

それにしても大きな予算が必要となるわけでありまして、ただ、昨年12月に1,000名ほどの署名をいただいたということもあります。そういう中で、小学6年生までの助成についても、皆さんの思いというのは、私たち委員会としても十分認識はしております。そういう中で、それに関連して大きな予算がかかるわけですから、付帯意見として、できれば段階的にでも、町として検討していただければ、そうしていただきたい、そういう思いでおります。

- 委員長(堀川貴庸) 他にありますか。千葉委員。

- 委員(千葉幹雄) 関連ですけども、今、前川委員からお話がありましたことに対しては、異議がございません。ただ、その付帯意見というのでしょうか。陳情は6年生までということ、もしそれがいいとするならば、段階的でもいいからということには、ならないと思うんですね。

あくまでも陳情の内容は6年生ですから。ただ、前川委員、おっしゃるように財政的なことも

ありますから、議論の中で推計金額もばらばらでしたけれど、おそらく5,000万円程度と私は読んでいますのですけれど。当然、大きな金額ですから、財政事情をにらみながらとか、やわらかな表現でいいのですけれど、そういう議論もあったことは事実ですから。言葉は、今、それ以上いいませんけれど、審議の経過としてあったということを、付したらいいのかなと思います。以上です。

- 委員長（堀川貴庸） それでは、ほかにご意見等なければ、だいたい委員の皆さんのご認識、一定方向にきてるのかな、と思いますので、討論等省略してただちに採決させてもらいたい、と思いますがよろしいでしょうか。

（はい、の声あり）

- 委員長（堀川貴庸） それでは、陳情第15号の子どもの医療費助成の拡大を求める陳情につきましては、採択とすることにご異議ございませんか。

（なし、の声多数）

- 委員長（堀川貴庸） 異議なしと認めまして、子どもの医療費助成の拡大を求める陳情については、採択すべきものとさせていただきます。なお、先ほども貴重なご意見いただきましたので、報告書につきましては作成を、正・副委員長にお任せいただきまして、ご意見等に配慮しながら報告書を作成させていただきたい、と思います。よろしいでしょうか。

（はい、の声あり）

- 委員長（堀川貴庸） ありがとうございます。続きましては、陳情の第1号、「介護保険『見直し』案に対する意見書」の提出を求める陳情書が、本委員会に付託されております。これは、まず付託されて初めての委員会ですが、ご覧にはなっていないと思います。それぞれ、また皆さんから、ご意見を頂戴したいと思いますけれども、ご意見のある方、ご発言をお願いします。

前川委員。

- 委員（前川敏春） これ、初めての審査になりますので5分なり、ちょっと時間をいただいて、もう一度見直したいと思いますので。

- 委員長（堀川貴庸） 分かりました。では、少し休憩いたします。

（暫時休憩）

- 委員長（堀川貴庸） それでは、再開をします。では陳情第1号につきまして、ご意見を頂戴したいと思います。前川委員。

- 委員（前川敏春） 介護保険見直しに対する意見書でありますけれど、今の国の政権自体がどうなるかわからない状態で、もう少ししっかりしてもらわないと困るわけでありまして。ただ、その中で、これから介護といいますが、高齢化社会に向けた介護というのは本当に一つの大きな問題だと思います。これから、段々、段々高齢者が増えてくるわけでありまして、私はね、改正でもね、きめ細かいきちとした改正を求めるべきだと思ひまして、賛同いたします。

- 委員長（堀川貴庸） 野原委員。

- 委員（野原恵子） 今、前川委員が発言しましたが、私もこの介護保険の見直しにつきましては要支援1、2の介護度の低い方の介護保険給付はずしが、一番の狙いであると思います。それと同時に、国が責任を負っていかなければならないものを、市町村に任を任せるというところにも、市町村の負担が重くなる。そして、その範囲も市町村の判断で決められるというところにも、そこに住んでいる高齢者にとっては本当に将来の不安が大きい。こういう介護保険制度の改正になっていると思うんですね。そういう点では、この幕別町もきちっと責任を負うといった立場では、

この意見書に賛成の立場といたします。

○ 委員長（堀川貴庸） 谷口委員。

○ 委員（谷口和弥） 前川委員、野原委員と同じ考えで意見を述べさせていただきます。3年ごとの改定のたびに、どんどん利用がしづらくなる、それがずっと続いてきているわけでありまして。

サービスが利用できない。安心して利用できるようにするのは、勿論ですけども、陳情項目の一つ目についても、とても重要な中身があると思うんです。だまっていると、どんどん保険料が値上がりされていく。この国庫負担を引き上げる、このことも強く求めていかなければならない、中身だと考えています。この陳情は、非常に重要な中身がある。願意がよく理解できる中身である。以上です。

○ 委員長（堀川貴庸） ほかにありませんか。今のご意見を伺いまして、皆さんのだいたいの考えの方向性、あるのかなと思ひまして、もしよろしければこのまま討論等省略しまして、採決に移りたいと思いますが、よろしいでしょうか。

（はい、の声あり）

○ 委員長（堀川貴庸） では、改めまして、陳情第1号、介護保険見直し案に対する意見書の提出を求める陳情に対しまして、採択することにご異議ございませんか。

（はい、の声多数あり）

○ 委員長（堀川貴庸） それでは、異議なしと認めまして本陳情を採択とさせていただきます。

こちらにつきましても、報告書の作成につきましても、正・副委員長にお任せいただければと思いますが、よろしいでしょうか。

（はい、の声あり）

○ 委員長（堀川貴庸） ありがとうございます。それでは、報告書作成させていただいて、作成した後に皆さんに一度目を通していただきたいと思ひますので、よろしくご協力お願いします。

その他、委員の皆さんから何かあるでしょうか。では、以上をもちまして本日の民生常任委員会を閉会いたします。

（15：15 閉会）